

製品名: Atg4D ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07296**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	45kDa

抗原情報

遺伝子名	ATG4D ATG4D; APG4D; AUTL4; Cysteine protease ATG4D; AUT-like 4 cysteine endopeptidase;
別名	Autophagin-4; Autophagy-related cysteine endopeptidase 4; Autophagy-related protein 4 homolog D
遺伝子 ID	84971.0
SwissProt ID	Q86TL0
免疫原	ヒト Atg4D の内部領域から得られた合成ペプチド。

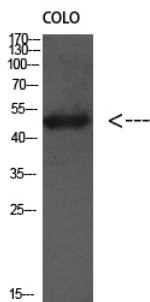
背景

オートファジーは、内因性タンパク質や損傷した細胞小器官が細胞内で破壊されるプロセスです。オートファジーは、分化、変態、非アポトーシス性細胞死、そして老化における細胞の恒常性維持と細胞リモデリングに不可欠であると仮定されています。一部の悪性腫瘍ではオートファジーレベルの低下が報告されており、がんに関連する制御不能な細胞増殖の制御におけるオートファジーの役割が示唆されています。この遺伝子は、C54 エンドペプチダーゼのオートファジー関連タンパク質 4 (Atg4) ファミリーに属します。このファミリーのメンバーは、細胞質と細胞小器官を隔離し、リソソームによる分解に供するオートファゴソームの生合成に関与するタンパク質をコードしています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2013 年 7 月], 酵素制御: N-エチルマレイミドによって阻害される。機能: オートファジーに必要なシステインプロテアーゼ。MAP1LC3、GABARAPL2、または GABARAP の C 末端部分を切断し、フォーム I を遊離させる。フォーム I の一部はその後、より小さなフォーム (フォーム II) に変換される。C 末端グリシンが露出したフォーム II は、ホスファチジルエタノールアミン (PE) 結合型と考えられており、オートファゴソームに結合する能力を有する。類似性: ペプチダーゼ C54 ファミリーに属する。組織特異性: 主に骨格筋で発現し、精巣でも発現量は少ない。

研究分野

オートファジーの調節;

画像データ



1:1000 に希釈した抗体を用いたコロのウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。